

白梅会報

発行所 宮城県古川黎明中学校・高等学校同窓会 白梅会
〒989-6175 大崎市古川源訪一丁目4番26号 電話 (0229) 22-3148

校歌

作詞 土井 晩翠
作曲 陸軍戸山学校
軍楽隊

一、荒雄川 また鳴瀬川
流れ合ふ 大崎平野
水絶えぬ 郷に匂ふ
なつかしのわれらの母校

二、一念の誠のしるへ
朝夕のたゆまぬ励
かがやける 望みにみち
わがみがき 心きたよ



同窓会会長
千葉 典子

ごあいさつ

新緑はいよいよ深まり、緒絶川端では藤の花房が川面に映える季節となりました。同窓生の皆様にはお元気で過ごさしめたいとお慶び申し上げます。日頃より同窓会の活動にご理解とご支援をお寄せいただき、心より感謝致しております。

昨年は母校で待ちに待った新校舎が落成しました。新しい時代に相応しく、近代的で創意工夫に富んだ素晴らしい校舎です。教室にも廊下にも光が満ち溢れ、完成までに携わった多くの方々の一方ならぬ思いが込められているように思いました。十月二十五日の落成記念式典は約千二百名の出席で、盛大に執り行われました。落成記念に同窓会より寄贈させていただいた演奏台は、まさしく晴れの舞台で、同窓生の祝意を担って立派にその役目を果たしました。落成記念として、三代の校舎と校歌・校章の入ったファイルを用意しましたので、同窓会本部・各支部の総会に出席された折にお渡し出来るかと思ひます。新しい校舎は在校生の皆さんの若い声が満ち溢れ、未来に向けて始動しました。力強い根を育てて、世界中のどこかの地にしっかりと根付き、大きな花を咲かせる日が来ることを願って止みません。

昨年度は関東・古川・田尻・仙台の四支部で総会がもたれ、百五十名程の同窓生が集い旧交を温めました。八月の本部総会には約百二十名の参加をいただきました。前校舎が出来た当時の恩師(中島正二先生・佐野督郎先生)を囲み、何十年の時を往きつ戻りつ楽しいひとときでした。新校舎の見学もさせていただき好評をいただきました。

十一月にはWBA女子世界スーパーフライ級タイトルマッチで藤岡奈穂子選手(四十六回生)が見事勝利し、初の二階級制覇を成し遂げました。今回も感動的な試合でした。新しい校庭に移植された白梅がこの春に無事花をつけました。三月、新聞紙上に母校の中学生の一文が投稿されました。『地震にも負けずに私たちを励ますかのような、たくましい白梅でした。白梅とともに歩んだ三年間、最高の中学校生活でした。』白梅のもとに三がつながった共通の思い出に出会い、感動しました。いろいろな感動に出会える同窓会の活動に一人でも多くの方が参加下さるのをお待ちしております。最後に、母校と同窓会白梅の益々の発展と、皆様のご健康をお祈りしてご挨拶と致します。

さらに前進「古川黎明」



宮城県古川黎明中学校・高等学校
校長 庄子 英利

同窓生の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動に対し、ご理解、ご協力とご支援を賜り深く感謝申し上げます。さて、本校は今年開校九十四周年、そして併設型中高一貫教育校「古川黎明」として十年目の節目の年を迎えました。昨年夏に完成した新校舎を有効活用し、生徒たちは授業、学校行事、部活動に一生懸命に取り組んでおります。新校舎玄関前に移植いたしました校木の「白梅」も、今年四月始めに

私の中の古女



恩師 今野 優 先生

私は平成十三年三月に定年退職するまで十八年間古女に勤務して、四十二歳から六十歳まで、私は人生の後半の中心的部分を古女で過ごしたことになる。その間は私にとって実に多いもの、であったから、「大変だ」と思いうことがあっても、「嫌だ」と思わなかった。古女は近郷近在から集まった才媛の集団であった。この場合の才

これまでと同じ見事な花を元気に咲かせてくれました。また、平成二十四年度に文部科学省から指定された「スーパーサイエンスハイスクール(SSH)」にも三年目となり、実績と効果も目に見え始めて参りました。大学や研究施設との連携による各種の科学講演会や校外研修、アメリカ西海岸シリコンバレーでの研修、タレイのプリンセス・チュラポーン・カレッジ・サトウ・チャラポーン・自然科学部生徒による英語による研究発表なども実施しました。さらに、高校一年生が班別にポスター発表、高校二年生が五十五のグループに分かれてポスター発表の課題研究発表会を開催し、お招きした多数の先生方から高い評価をいただきました。本校では例年キャッチフレーズを生徒に公募しております。今年

媛とは、学問・才能にすぐれた女性、という辞書的意味に加えて、他人の立場に我が身を置いて考え、その人に共感することのできる賢い女性という意味も含んでいる。古女は女性そのような才媛の学が楽園であった。私には「女子たるものは」とか、「日本男子たるものは」などと口走ってしまうフィクションに深く犯されているところがあった。それは書いた悪癖の退治法は、物の本に書いてあるなかなか困難なものである。そのような私の前に、古女生は正しいことを正しいとして前進して行く姿を見せてくれた。その姿は清新で潔いものだった。人間とか女という区別の前に、「人間とか女」という観点が大切なのだと、私は長い時間をかけてしまった。私はいつの間にか百パーセントのフェミニストになっていた。人間とはかくも変貌できるものだろう

度は「アドベンチャー・イン・宝物」と決まりました。今後とも、生徒、教職員、保護者として同窓生が「チーム黎明」として一体となり、これまで長年培われた歴史と伝統を踏まえ、飛躍して参りたいと考えております。最後にありますが、昨年度は、旧校舎の解体と新グラウンド整備の予定についてお知らせいたしました。沿岸部の震災復興事業を優先すること等から、解体は平成二十七年以降に延期され、新グラウンド整備計画も、残念ながら、平成二十八年度以降と大幅に遅れる見通しとなりました。六年後には、いよいよ創立百周年を迎えます。同窓生の皆様には、今後とも変わらぬご支援並びにご協力を賜りますようお願い申し上げます。

かと我ながら呆れる程である。さて、私の自己改造について述べてきたが、それは古女生に会って触発されて初めて可能であった。一方私は古女生たちを触発できる触媒の一滴になれたのだろうか。そこに考えを進める時そぞろ秋風が立つ思いがする。私は古女の卒業生が現在でも高校生だった時のように、清く、正しく、真っ直ぐに日々の厳しい現実の中を歩んでおりますようにと祈っている。否、必ずや、そうであろうと信じている。と、ここまで書いてきた時、「それは勝手すぎます」という声が聞こえた。うなづいたが、老人の空耳であったとわかり、ほっとしている。最後に、最大の願いをこめて、古女同窓生の末長い幸福を祈っている。

黎明の進路

進路指導部長 玉田賢司

今春、古川黎明中学校・高等学校となつて初めて、医学部医学科への合格者が二名、歯学部への合格者が一名出ました。いずれも、将来は医師として地域の医療に貢献したいという熱い思いをもつ若者たちです。いつか必ずその大志を果たしてくれることでしょう。

彼らに限らず、古川黎明の卒業生には地域に貢献したいという熱い思いをもつ若者が多くいます。「大崎市を若者の目線から活性化したい！」そんな思いをもつた若者が集まつてできたNPO法人「アバイン」（アバイン）と読み、方言の「あばいん（意味…おいで、一緒に行こう）」に由来）の中心メンバーも古川黎明を卒業した大学生たちです。「若者が活躍できる場を提供するとともに、商店街をはじめとした地域交流を推進する活動」を行つてこの団体、大崎にお住まいの同窓生の方々の中にはすでにご存じの方もいることでしょう。是非ご支援ください。

こうした若者たちが同窓生として社会で活躍してくれることは学校にとって真に誇りです。

最後になりますが、今年度、古川黎明中高一貫生の一期生が教育実習に來ています。東日本大震災のあったあの三月に卒業した子たちです。月日の経つのは早いものです。震災

からの復興は物理的なものばかりでなく、復興を担っていく人材の育成も不可欠です。医療や経済、教育と様々な分野で活躍する人材を古川黎明から一人でも多く輩出できるように今後も頑張っていきたいと思ひます。

〈今春の主な進路先〉

○国公立大

北海道大、弘前大、秋田大、岩手大、東北大、宮城教育大、宮城大、山形大、埼玉大、群馬県立女子大、新潟大、都留文科大

○私立大

東北学院大、宮城学院女子大、尚絅学院大、仙台白百合女子大、東北福祉大、東北薬科大、東北文化学園大、東北工業大、仙台大、岩手医科大、東北芸術工科大、国際医療福祉大、共愛前橋国際大、日本工業大、白鷗大、獨協大、文教大、淑徳大、城西国際大、神田外語大、大妻女子大、杏林大、

初代校舎



二代目校舎



三代目校舎



駒澤大、駒沢女子大、國學院大、成蹊大、専修大、玉川大、拓殖大、中央大、帝京平成大、東京農業大、東京工科大、東京聖栄大、日本体育大、和光大、早稲田大、明治大、明治学院大、昭和音楽大、東海大、フェリス学院大、関東学院大、新潟医療福祉大、金沢工業大、同志社大、龍谷大、甲南女子大

○看護専門学校

石巻赤十字看護専門学校、国立病院機構仙台医療センター附属看護助産学校、仙台徳州看護専門学校、旭中央病院附属看護専門学校、君津中央病院附属看護専門学校

「公務員・民間就職」

大崎市職員、警視庁警察官、航空自衛隊一般曹候補生、アルプス電気株式会社古川工場、YKKAP株式会社東北事業所、古川農業協同組合、株式会社西巻、合資会社古川ポンプ製作所

過去3力年の卒業生進路統計

年 度	進 学								就 職		受験 準備	その他	卒業 人数
	大学		短大		専修各種学校			海外 進学					
	国公立	私 立	国公立	私 立	大学校	医療系	一 般		公務員	民 間			
2013	28	151	0	8	2	11	14	3	4	5	13	2	241
2012	24	140	1	11	0	18	18	0	8	1	17	0	238
2011	40	122	0	7	0	24	15	0	2	2	20	1	233

支部だより

古川支部

古川支部総会は例年の如く七月第一日曜日（本年度は七月七日）に会員三十名の参加をもって開催されました。今回の講演は「詐偽犯罪からお財布を守る為」という題で、とかく近年高齢者が標的にされていることの多い犯罪等について消費生活相談員の方からお話を伺うことができました。懇親のひとときには同窓の姉妹と一年ぶりの再会を喜びあい、歌や踊りに一段と磨きのかかったアトラクションに拍手喝采、楽しい時を過ごしました。

総会終了後、黎明校長庄子先生が私達をご案内して下さり、完成あい成った素晴らしい新校舎を拝見致し大感動でした。時代は新世代を求めて前進しているという思いがしました。

私達の母校の発展と躍進を祈ります。

支部長 庄司美和子

田尻支部

「年二回の語らいを楽しみに」

二十三年十一月に、初代平野支部長のお力でようやく誕生した「田尻白梅会」。

二十四年度の総会は沼部公民館で、恩師の相澤信先生をお招きして「生活リズムと睡眠」の講演を拝聴致しまし

た。研修会は二月仙台から桂友楽師匠をおよびして新春落語の会を持ち、一般の方々の参加もあり、笑いでいっぱいになりました。

二十五年度の総会后、いきいきクラブの舞踊や演歌で楽しみました。秋の研修会は新装なった母校の見学としやれこみ、日曜にもかかわらず、庄子校長先生、小林裕美先生にご案内をいただきました。午後は「吉野作造記念館」を見学しました。

二十六年の総会は、七月二十一日にパレットおおさきで移動総会とし、午後は大ホールで、母校の後輩「コーラス部」の発表を聴くことになっていました。会員達は、大崎市のバスで古川まで移動し、コーラスを聴くのを大変楽しみにしています。

支部長 佐藤紀久子



関東支部

一月末新春恒例の旧古川市内四校関東同窓会では、二十一年目となる年目に、これまで繋いでくれた先輩方に感謝し、四校がこれまで以上に結束し発展していく事を誓いました。公演は我が黎明高の三名（昭三十九年卒の鈴木、渡辺、佐野）による「みやぎの民話」が語られ、故郷の言葉による熱演ぶりに会場は大いに湧きました。三名が在学中教諭でいらした中島正二先生（八十才）が古高卒としてご参加、教え子を見守って下さいました。

関東支部同窓会には新緑の五月末開かれました。今年は本部のご協力で高女、古女、黎明のDVDを千葉会長のご説明で、更に待望の新校舎を校長先生撮影の映像で拝見し、懐かしさと立派な新校舎に目を見張りました。特にシンボルの白梅の移植と四月開花の様子に安堵致しました。六年後のオリンピックの年は高校百周年、中学十五周年の輝かしい年と伺いました。母校の更なる躍進を見守り続けたいと思います。

支部長 萩原 節子

仙台支部

東日本大震災から、早いもので三年と三カ月が過ぎようとしています。復興はまだ半ばとはいえ被害を受けた田んぼの一部に苗が植えられ、その苗が青々と成長している様を目にするとど

こかほつとするような思いがいたします。同窓生の皆様にはご機嫌いかがお過ごしでしょうか。

さて、仙台支部につきましては平成二十四年度から懇親会という形で活動を続けておりますが、昨年は十一月七日（木）真福寺さんを会場に、本部から会長の千葉様と副会長の三浦様にお出でいただき、当時の思い出話や近況報告などで、賑やかに楽しいひとときを過ごすことが出来ました。

会員の参加は十一名とまだまだ少ないのですが、声かけなどで誘いあった新しい参加者の方も何名かいて嬉しい会になりました。若い方にももっと参加してほしいところですが、他支部の皆様の活動の様子など参考にさせていただきながら考えていきたいと思っています。

最後になりましたが、母校の益々の発展と同窓生の皆様のご健康を心よりお祈り申し上げます。

支部長 伊藤 扶佐子

謹んでお悔やみ申し上げます。

菅原 徳行先生	S 32年～S 38年
笠原 眞太郎先生	S 41年～H 元年
澁谷（佐々木）啓江様	H 8年卒
荒井（小野寺）ゆり子様	S 16年卒
我妻（大内）孝子様	S 36年卒
大崎（遊佐）顕子様	S 14年卒

同窓生は今

「手のひらサイズのサブライズ」



最近のお仕事：株主優待生活で有名な桐谷さんとガチャガチャ発売のトークショー

平成7年卒
加藤しずえ

みなさま 相変わらず活発で元気に活躍でしょうか。気付けば卒業してから二十年。少し『相変わらず』という言葉が似合わなくなってきた位に、みなさまは素敵になられていると思います。

私は古女を卒業後、一浪して東京の美術大学へ進学し、ゲームメーカー(株)セガに就職しました。そして一度転職して、現在は玩具メーカーの(株)タカラトミーでガチャガチャの商品開発に八年間従事しています。日々、企画会議、外部交渉、進行スケジュール、納期、売上に追われ、泣きつ面ながらも無二に楽しく働き、独身のまま今に至っています。最近ではやはりそこそこのお局年齢になってきたので、代表作なども創出することができ、昨年は佐川急便のイケメンドライバーをフィギュア化した「佐川男子ガチャ」やNHK朝ドラの「あまちゃんガチャ」が業界内でヒットし、「大人向けガチャ」という新語ができ、新聞各種、テレビ・ラジオ出演やネットニュースのインタビュ取材など数多く取り上げて頂きました。思ひ起せば初のテレビ出演は高校一年生の時で「音痴コンテスト」というテレビのバラエティ番組でした。

地方大会の予選を勝ち抜き、新幹線で上京し、決勝戦で全国ネットの生放送に出演しました。周囲を驚かせたくて内緒で出た為、偶然観てくれた人が多く、翌日何食わぬ顔をしてソフト部の部活に参加したら、噂を聞きつけた顧問の渡辺秀鳳先生に「きちんとみんなに言ってからテレビに出なさい」と冬季用練習場の農業用ビニールハウス(通称「ドーム」)の中で笑顔で叱られたのを覚えています(笑)。

私の仕事は手のひらサイズながらもオモチャというエンターテインメントを創る仕事です。自分の身近な人間を楽しませることができなかつたら、不特定多数の消費者に喜んで貰えるはずがありません。「周囲を楽しませるには」という発想は確実に古女の同級生に鍛えられていました。例えば古女の学祭の「ミス・ミスターコンテスト」で、ミスでもミスターでもない『オカマ』の「芸者ガールズ」として出場したのは、今の仕事に活きるアイデアの原点だったかも知れません(笑)。

また、去年の朝ドラの「あまちゃん」を観ながらよく古女の同級生たちを思い出していました。あのユニークで愛らしい海軍軍団の配役を同級生に置き換えることは容易で、想像してはよく朝の満員の通勤電車で吹き出しそうになりました。人生笑ったり怒ったり、楽しいことも辛いこともたくさんありますが、どんな状況でさえ、笑い話に変換できる逞しさを身につけたられたのは古女で学んだおおかで凛とした校風と、芸人さん顔負けのお笑いジェンヌのような愉快な同級生たちに囲まれたお陰だと感じています。同級生と過ごした、あの笑いと優しさに包ま

た小麦色の肌の時代を今でも深く愛してやみません。戻れない時間の流れの中で『相変わらず』と思ひ合える仲間がいることはいつまでも大切にしたいです。

「二十年後を楽しみに…」



平成7年卒
藤原 真弓

皆さん、こんにちは。お元気ですか？ 私は一年前からフランスに住んでいます。四十才目前のこの年で来るとは思っていませんでしたが、中学生の頃から海外には住みたいと思っていた。古女を卒業後は宮城調理師専門学校へ行き、その後は仙台に約十年・東京に約七年住みパティシエやバーテンダー等、主に飲食業に携わってきました。一方で語学への興味も尽きる事はなく独学で英語の勉強は続け、数年間は子供英会話教室の講師をした事もありました。その教室があつた七ヶ浜も被害を受けた大震災が、海外行きを考えるきっかけになりました。明日どうなるか分からないのに、やりたい事をやっておかないと後悔すると思つたのです。

今はパリの飲食店で働いています。言葉も分からない・知り合いもない国という事で求人を見た時は少し考えました。ですが英会話講師の時に海外に住んでみないと分からない事がたくさんあると感じていた

ので、良いチャンスだし英語で何とかなるだろうと思ひ来る事にしました。こちらに来てから「友人宅でのパーティー」でほとんどの人が初対面」という状況が多々ありますが、すぐに打ち解け一緒に酔っ払える図太さが今の私にはあります。でも昔の私は人見知りで、人前に出るのも苦手でした。そんな部分を変えたいという思いもあり、古女の頃に英語弁論大会に出させてもらったり、生徒総会の議長(こ)をやらせてもらった様な記憶もあります。何もかも新しい環境を自分で作らなければいけない土地にわざわざ来て、今こうして楽しくお酒が飲めるのも古女時代の小さなチャレンジのお陰かもしれせん。

古女を卒業してから二十年という事ですが、当時、携帯電話やインターネットは今ほど一般的ではなく、ポケベルを持っている友人が何人かいたのを覚えています。音楽を持ち出すにはCDプレーヤーが必要でした。今はパリにいても宮城の友人といつでも気軽に話す事ができます。音楽は一度に何万曲も持ち出せます。これはまた二十年後、世の中の変化はもうろんでますが、自分がどれだけ図太くなつていくのかも楽しみに待とうと思います。

編集後記

お忙しい中、原稿をお寄せいただきまして皆様方にこの場をお借りして御礼申し上げます。多くの方々と深い絆を再確認することができました。ありがとうございます。同窓生の皆様のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

松坂 千枝 青柳 真紀
石澤 麻紀